

『声かけあい、支えあう、ひがし区民協議会』の概要

1 経緯

○平成22年8月に「安全・安心」をテーマに『声かけあい、支えあう、安心安全なまちづくり区民協議会』（以下「旧協議会」）を設立

背景

- ・地域課題の複雑多様化
(人口減少・少子高齢化、自然災害・感染症への対応、健康・食・エコへの関心の高まり、町内会人材の高齢化など)



移行

○より幅広い関係者間の協働や横のつながりの強固な仕組みを再構築するため、区民協議会設立後10年を節目に『声かけあい、支えあう、ひがし区民協議会』（以下「新協議会」）へ移行（令和3年3月 書面臨時総会）

特徴

- ・『テーマ型協議会(安全・安心)』からテーマを限定しない『総合型協議会』へ
- ・『まちづくり活動実践団体』(各地区連合町内会など68団体)と『協力団体』(東警察署、東消防署、タッピーフレンズなど)により構成

2 新協議会の目指す姿

東区のまちづくりに関わる多様な主体が参画する **情報共有の場** を構築し地域活性化を推進
～オール東区で次なる50年に向けたまちづくりを推進する『**東区プラットフォーム**』の確立～



声かけあい、支えあう、ひがし区民協議会

総会

- 前年度の活動実績、当該年度の活動計画などを情報共有
- 実施時期は6～7月頃を基本に調整

交流会

- まちづくり活動実践団体の活動内容や、協力団体の取組などを情報共有し、団体間のネットワークを拡大・強化
- 実施時期は年度後半を基本に調整

情報共有の場

まちづくり活動実践団体

連合町内会など68団体

将来的には…

防災 交通 健康 スポーツ 福祉 環境 など
防犯 安全

様々な分野で自然発生的に連携・協働した取組へ発展

人・情報・物が集まる

東区プラットフォームの確立へ

協力団体